

第5回 e-learning コンテンツ作成 WG 議事録（確定）

日 時 : 令和5年10月18日(水) 10:00~11:10
形 式 : Web 会議 (Zoom)
場 所 : 日本薬学会長井記念館 薬学教育協議会事務局 (ホスト会場)
出席者 : 別記1
配布資料 : 別記2

1. e-learning コンテンツ テストデータの確認

(株)カビネットより、「Society5.0をはじめとする未来社会のイメージ」担当の先生方より提示いただいたイントロ部分の資料を(株)カビネットの解釈により e-learning サンプルとして作成した。特に確認いただきたい事柄では、展開、デザイン、色、レイアウト、タイトルの記載等を確認いただきたいとの説明があった。

サンプル視聴の中で記載の文字は e-learning 形式で加工していること。先生方に提供いただいた原稿を(株)カビネットのイラストにアレンジしたこと。視覚的に訴えることを目標としているため、できる限り図による表現に置き換えたこと。全体で文書の割合が大きすぎないように検討していること。原稿どおりでは大きすぎるので、フォントサイズを修正したこと。現状では、絵で訴えることを中心とした表現であることの補足説明があった。

なお、担当の先生より提示いただいた資料により各項目の各ページを用意しているが、提示いただいた情報から抜粋して(株)カビネットの中で素人ながらに考えた組み合わせであるので、先生方よりご意見をいただき、整えていく方向であるとのことであった。

また、内容をご覧いただき足りない部分や改善する部分があると想定されるが、最終的に原稿を整理した後に PDF 等で先生方にお配りするので、ご確認いただき纏めていく方向を考えているとの発言があった。

視聴後の主な意見の提示

- ・見やすく良いと感じた。音声がかぶって聞こえるがちゃんと確認したい。
- ・トップページの日本赤十字社のマークだが、規則等で使用できないが見直してはどうか。
- ・薬学教育協議会に相応しい象徴となるマーク等への修正はいかがか。

○ここで、ナレーションの音声を再度確認することとなった。

(アクセントは修正できる。また、女性、男性の声は変更できるとの説明があった。)

- ・トップページのイメージだが、メニューが出てクリックし、この画面にジャンプすることか。
- ・コンテンツのトップ画面等に文部科学省の委託事業費と記載する必要はないか。

(小さく委託事業名を入れることの提示があった。文言はご後日。)

- ・この事業は、医歯薬共通で走っているプロジェクトである。医学は、動画ベースでフリーアクセス (CC ライセンス) として進んでいる。

- ・このコンテンツを管理するため、利用規約、アクセス権やライセンス等についてはいかがか。
(株ホサカ、(株)カビネットに検討いただき、後日、提示いただくこととなった。)
- ・このサンプルで提示のフォントは変更できるのかどうか。
- ・このコンテンツのフォント指定は、今後、検討することではいかがか。
- ・章立ては全体のタイトルは決まっていたか、いかがか。
- ・この事業は、「情報・科学技術を活かす能力」と「総合的に患者・生活者をみる姿勢」を合わせた内容と理解している。こちらのタイトルは、**情報・科学技術を活かす能力に向けて**というようなタイトル名を付すのかと考えているがどうか。
- ・もう一方のボリュームがどうなのか、またどのように区別するのも課題であるがいかがか。
- ・全体のタイトル数は、情報科学技術が関連資料のページ数を含めた 6 タイトル、総合的に患者生活者をみるは 3 タイトルの合計 9 タイトルであるがどうか。
- ・総合的に患者・生活者をみる姿勢の 3 タイトルは、どのようにするか伺いたいがいかがか。
- ・「総合的に患者・生活者をみる姿勢」のコンテンツは、**e-learning** 形式にこだわっていない。動画を利用した教材として学生、教員向けに纏める方向であると理解しているがどうか。
- ・現在、動画を見ながら、10 月 14 日と 25 日に対面で打合せをする状況であるがいかがか。
- ・それ以降に情報共有をお願いしたいがいかがか。
- ・動画を中心とした内容で、DVD で配信するという案がでていたがどうか。
- ・結論が出ることを待つが、ページ設定のリミットはいつまでがよいか。
- ・「総合的に患者・生活者をみる姿勢」のコンテンツ作成に、**e-learning** を使用しない場合 30 ページ程度の余剰が出るが、「情報・科学技術を活かす能力」のコンテンツ作成に使用できるが問題ないか。
- ・全体のページ数で認識している。その範囲内であれば指示により対応するがいかがか。
- ・今後の進捗の中で、余剰ページの使用を見据えて校正等の確認作業を進めていただきたい。
- ・1 枚のスライドの中で動画やイラストレーション等、動的なものを入れて問題ないか。
- ・配置したページ内で 1 頁 1 点は問題ないのでよろしいか。
- ・ラフな内容で作ったモノを(株)カビネットで編集できないか。
- ・提示いただいたモノが作業範囲内であれば対応できる。都度確認いただきたいがいかがか。

1)(株)ホサカ、(株)カビネットより提示の資料「打ち合わせ予定内容」について

(株)カビネットより資料である「打ち合わせ予定内容」に基づき、④今後の制作の進め方について、説明があった。

特に、今回は形になった部分をお見せしたが、先生方より提示いただいた資料で他の部分も作りこんでいる現状である。今後、④に示した内容で、一旦叩き台を作り、チェック後修正する。2 回程度の校正で進めたい。人的制限もあるが並行処理で対応したいとの説明であった。

2)今後の制作作業の進め方について

木下委員長より、今後の制作にあたって、時間の関係から docs に入っているものを中心にして期限付きで先生方よりご意見等をいただいているが、今後の制作の進め方について、基本的にはベースを(株)カビネットにお任せして制作作業を進めていただき、そして先生方に校正いただくこととする旨の発言があり、本件について了承された。

その後の主な意見の提示

- ・校正については、ルールが必要かと思うが、校正が1回と決めると難しい。コンテンツの中身によって柔軟な対応をいただきたいがいかかがか。
- ・時間の中で精一杯対応するが、状況により相談いただきたいがいかかがか。
- ・現案では10月24日が締め切りと提案いただいておりますが、問題ないか。
- ・どのレベルまでの提案内容が必要なのか。
- ・Word ベースでご提示いただきたい。しかし、動画や素材指定がある場合は、事前にご相談いただくことでいかかがか。
- ・チャプターによってテキスト量が多いところもあると思うがどうか。
- ・今、ある素材で進めていただきたいがどうか。
- ・もっと素材を提示いただきたい場合は担当の先生と直接ご相談いただきたいがいかかがか。
- ・前回のサンプルでは、読み上げ文字が順次出現してくるデザインであったがどうか。
- ・文字の加工も用意している。指示により最終的な完成版としたいがいかかがか。
- ・コンテンツの修正作業では、修正版の内容を随時共有しながら完成させるのかどうか。
- ・制作段階では修正できる部分は随時修正する方向であるがいかかがか。
- ・全体の成果物とする場合は、WG でご確認いただくことでいかかがか。
- ・今後、様々なデータのやり取りが発生しメールでは追いつかない状況と危惧するがどうか。
- ・クラウド上等で相互に確認できる仕組みは用意できないかいかかがか。
- ・お任せいただけるのであれば、一旦、用意させていただきたいがいかかがか。
- ・混乱を生じないように、分かりやすく提示することで実施したいがいかかがか。
- ・10.24 で一旦締め切りラインである。まずは各先生方に作っていただき、資料の追加要望は担当の先生方と直接連絡いただく方向で進めることとしたい。
- ・全体会議等の進捗報告までは細かく対応する予定であるがいかかがか。
- ・年内の WG 予定は 11.15 と 12.13 が予定されている。リリースは1月予定であるので、12月が最終確認と考えるがよろしいか。
- ・追加資料は、パワポであれ何であれ、(株)カビネットへご提示いただきたい。
- ・情報共有したい場合は、いままでどおり docs にお願いしたい。
- ・タイトル毎のご担当の先生を確認させていただきたいがいかかがか。
- ・1. 細谷先生、原口先生、出口先生 2. 松野先生 3. 酒井先生 4. 近藤先生
5. 今井先生 6. はどのようなことになるか分からないが、資料集は木下委員長が対応する。

- ・届いている原稿、把握している原稿を纏めた後、担当の先生方に要望等をいたします。
- ・現状の e-learning コンテンツは、知識教授型である。テスト等の成果確認を設けるかとの議論があった。成果確認を設けるには時間を要するがいかがか。
- ・次年度以降は、協議会で責任を持つ必要があるがいかがか。
- ・次年度に追加して成果確認システムを設けることも可能ではないか。
- ・成果物のクオリティも検討する時間が必要ではないか。

3) e-learning コンテンツの形式について

木下委員長から、今回の e-learning コンテンツは、時間的なこともあるが視聴型のコンテンツとすることでよろしいかとの発言があり、了承された。

2. コンテンツ作成のロードマップについて

木下委員長より、今後のロードマップについては、先程も確認させていただいたが、12月のWGは最終確認を目標としている。11月のWGは、出来ている部分までの進捗確認を予定としたいとの説明があった。

今後の課題では、ライセンス或いはアカウントをどうするかという問題が残されている。なお、次年度以降の e-learning コンテンツの取り扱いについても検討が必要と考えられるが、特に、この事柄は薬学教育協議会の検討事項となると判断しているとの発言がなされた。

3. その他

1) ㈱ホサカ、㈱カビネットへ資料作成の依頼

この e-learning コンテンツは、ムードルベースである。本 WG では、ログインパスワードをどうするのか、共通 ID による運用や、大学へのアカウントを提供するのか等々の案が提出されていたことを踏まえ、それぞれのメリット、デメリットやそれぞれの作成に要する作業量はどれ位になるのかを纏めていただきたい旨の依頼が㈱ホサカ、㈱カビネットになされた。

木下委員長より、この内容を提示いただければ、今後の活動においてとても良い判断材料となり、有効活用できる旨の発言もなされた。

2) 次回開催

11月15日(水) 10:00~12:00 Web (Zoom) 会議を予定

別記 1 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第 5 回 (10 月 18 日開催)

構成員氏名	所 属	出欠席	備 考 欄
木下 淳	兵庫医科大学薬学部臨床薬学分野	Web	
今井 志乃ぶ	昭和大学薬学部門薬剤疫学部門	Web	
近藤 悠希	熊本大学大学院薬学教育部臨床薬理学分野	欠席	
酒井 隆全	名城大学薬学部医薬品情報学研究室	Web	
出口 芳春	帝京大学薬学部薬物動態学研究室	Web	
原口 亨	公益社団法人日本薬剤師会	Web	
細谷 治	日本赤十字社医療センター薬剤部	Web	
松野 純男	近畿大学薬学部医療薬学科	Web	
本間 浩	一般社団法人薬学教育協議会	Web	
オブザーバー	文部科学省高等教育局医学教育課		
e-learning コンテンツ作成業者 ○ 株式会社ホサカ ○ 株式会社カビネット			

別記 2 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第 5 回（10 月 18 日開催）

<配付資料>

追加資料 コンテンツ制作ミーティングアジェンダ《打ち合わせ予定内容》